

ふくちやまし

# 議会だより

2017  
11



■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■平成29年11月発行 No.115



▲多くのボランティアによる災害復旧  
◀台風により崩落した道路(大江町関)

度重なる台風の襲来により、被害にあわれた市民の皆さんに、謹んでお見舞い申し上げます。

皆さまの日常に、一日も早く安らぎと笑顔が戻りますよう、早期の復旧、復興に取り組んでまいります。

福知山市議会

## 主な内容

平成28年度決算 検証！市の税金はどう使われた？ ..... 4～7

「大呂自然休養村センター」指定管理決定 ..... 8

ここが聞きたい！一般質問(19議員が市政を問う) ..... 11～20

元気やで福知山！福知山演劇サークル「わっぱ」 ..... 24

# 9月定例会

## 台風5号、18号被害(本年9月)の 災害復旧予算を可決 大呂自然休養村センターの指定管理者決まる

9月1日から10月20日までの50日間にわたって9月定例会を開催しました。

この議会では、平成29年度一般会計補正予算など36議案が市長から提案されました。(このうち、9月17日から18日の台風18号による災害復旧事業と衆議院議員総選挙等執行事業の補正予算については、10月2日に提案され、早期対応を必要とするため、同日原案どおり可決しました。)

また、その他の補正予算、条例改正、公平委員の選任などの議案は、9月25日に全議案原案どおり可決および同意しました。

さらに、平成28年度決算の認定議案については、決算審査委員会において、9月27日から29日、10月3日、10日、11日に所管別質疑・総括質疑・自由討議を行い、10月20日に全議案可決および認定しました。(内容はP4～7を御覧ください。)

なお、本定例会の一般質問は、12月14日の3日間で行われ、19人の議員が質問を行いました。(内容はP11～20を御覧ください。)

### 9月定例会で決まった主な案件

#### 台風による災害復旧事業関係

(万円未満切捨)

**1億8360万円**

○農地・農業用施設災害復旧事業（夜久野栗尾他、大江佛性寺、下野条他）	6050万円
○林道施設災害復旧事業（下千原、三谷、小谷、雲原、森垣）	560万円
○土木施設災害復旧事業（修繕、土砂撤去、測量・応急および復旧工事他）	9750万円
○災害に強い森づくり事業（雲原）	2000万円

#### その他の補正予算

○衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行事業	5060万円
○福知山公立大学就学生支援事業（入学支援金、奨学金）	280万円
○中学校施設設備改修事業（桃映中学校多目的トイレ設置）	430万円
○移住・定住促進事業（住宅支援金、雇用奨励金）	534万円
○農地耕作条件改善事業（土地区舗装工事）	180万円
○企業版ふるさと納税の推進（指定寄附金3件、額田ダシまつり他）	—
○その他3件	58万円

#### 国庫負担金返還金および基金積立事業の補正予算

**5億8635万円**

○国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計
水道事業の特例的収入・特例的支出の補正（簡易水道事業の水道事業統合関連）

○特例的収入（213万円）・特例的支出（11万円）
---------------------------

#### 条例の一部改正

○個人情報保護条例・情報公開条例の一部改正
○都市計画審議会条例の一部改正

#### 平成28年度一般会計・特別会計・企業会計決算の可決および認定

#### その他

○物品の取得、損害賠償の額、土地改良事業の施行
○公の施設に係る指定管理者の指定（大呂自然休養村センター）

#### 人 事

○公平委員の選任（1名）、教育委員の任命（1名）、人権擁護委員の候補者の推薦（3名）
--

# 急がれる台風5号、台風18号の早期復旧

災害関連補正予算 全員賛成で可決



下天津長尾線の災害現場

## 台風5号関連

土木施設災害の復旧に関する財源措置は。

災害復旧事業については、

支出が非常に大きいため、単年度で補助される場合と市債を発行し財政が措置される場合がある。ほとんど単費支出がない有利な市債「土木施設災害復旧事業の補助・直轄災害事業債」を活用する。

被害を受けた下天津長尾線の応急対策や二次災害への対応や工期は。

早期に土砂撤去を行ない、ブルーシートによる雨水対策の実績は。

## 台風18号関連

早期の復旧対策を

早期対応の考えは。

予算措置も含め、各所管において早急に被害状況を把握する。定例会にて補正予算化できるものについては議案提案をする。

## その他の案件

### 「大呂自然休養村センター」の指定管理料、その根拠は

市の指定管理料限度額の算定根拠と各年度の積算の考え方は。

市による指定管理料限度額の積算については、近隣の類似施設と過去の指定管理の実績を踏まえ、稼働率、原価率、収益性などを勘案する中で、将来的な目標を設定し算出している。

農地・農業用施設（夜久野町栗尾、下戸地区）の復旧事業の工期は。

農地法面崩壊として10月の災害査定を受け、工期については年度内完成予定としている。

応募団体から提出された各年度の積算の考え方。

収支バランスのマイナス部分を指定管理料で補うという考え方で積算されたものである。

**企業版ふるさと納税事業をより有効に**

額田ダシンまつり補助事業」「文化財保全事業」「治水対策プロモーション事業」の3事業を対象とした経緯は。

企業版ふるさと納税は、国の政策である雇用の創設、移住・定住、まちづくりなど、地域創生を推進する観点で幅広い分野の事業が対象となつ

ている。企業に事業を紹介する中で興味を示された事業を対象とした。

移住者の支援策である住宅支援補助金が15組から23組に増加した理由は。

平成28年4月に「移住・企業立地推進課」を新設し、相談窓口を設け、積極的なPRに取り組んできたことが考えられる。

住宅支援補助金が23組に對して、雇用奨励金が5組と少ない理由は。

移住された方の多くは、既に就職を決めて転入される場合が多いためである。

移住された方の多くは、既に就職を決めて転入される場合が多いためである。



全て野菜でできています。額田ダシまつり「下ダシ(つくりもん)」

基金積立金が、1億9904万4千円の剩余金が発生した要因は。

平成28年11月以後、高額薬剤を使用する患者数の減少などにより、前年度と比較して医療総額が大幅に減少したためである。

平成28年以後、高額薬剤を使用する患者数の減少などにより、前年度と比較して医療総額が大幅に減少したためである。

平成28年以後、高額薬剤を使用する患者数の減少などにより、前年度と比較して医療総額が大幅に減少したためである。

介護保険事業

介護保険料は、適切に算定をされているのか。

国のワークシートに基づき定められた基準で過去の推計値、伸び率による計算式に基づいたものである。

（全議案 全員賛成で可決）

## 平成28年度 決算

# 検証！市の税金はどう使われた？

平成28年度の歳入・歳出決算について、5日間にわたり一般会計ほか18会計を審査しました。

## ○審査の概要

**総務防災関係**  
市民税增收は個人市民税の増加要因は。

**問** 法人市民税および固定資産税の減少要因は。  
**答** 法人税の減少は税制改正による法人税割の税率改正の影響が大きい。固定資産税については、地価の下落、償却

**答** 所得割の納稅義務者は、全体で前年度比594人増加した。総所得金額の85・6%を占める給与所得が伸びたことが主な要因だ。

資産の経年減価による減少である。

## e-ふくちやま事業

**問** 民営化の進捗状況は。  
**答** 株式会社ケイ・オプティコムとの基本協定に基づき、完全民営化を行う平成31年4月に向けて、平成28年度から3年間で施設整備を進めている。

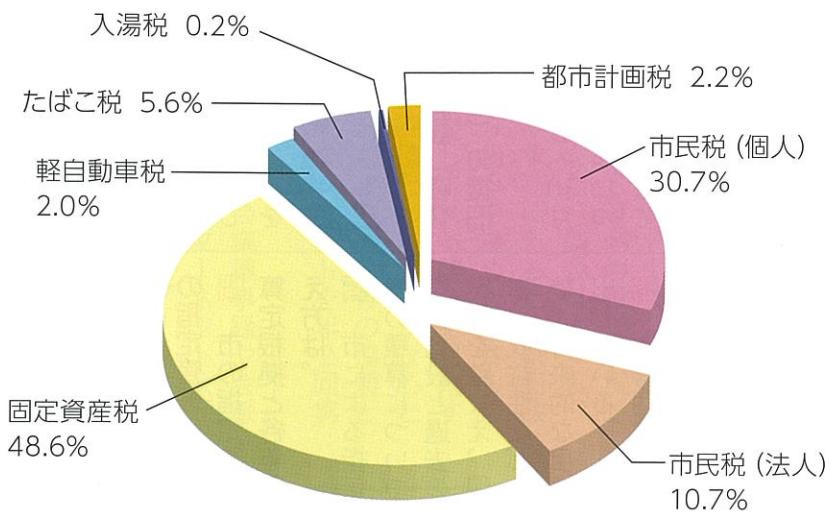
5日間で18名の参加があった。ビールメーカーなどの大企業のほかに、地方創生に関わるベンチャーエンタープライズなどもあった。ジビエを取り扱っているパン屋を訪問し、経営形態や起業に至った経緯について意見交換を行った。

## KTRへの補助

**問** KTR経営安定化などの補助金について、今後の方向は。

**答** 線路などの安全性に関する基盤整備やMF車両の更新を順次行なっていくためには、KTR支援費基盤管理補助金など今後も支援が必要である。

## ■市税の構成比



※平成28年度 決算概要より

## 市民地域関係

### 三和地域の「小さな拠点づくり事業」の成果

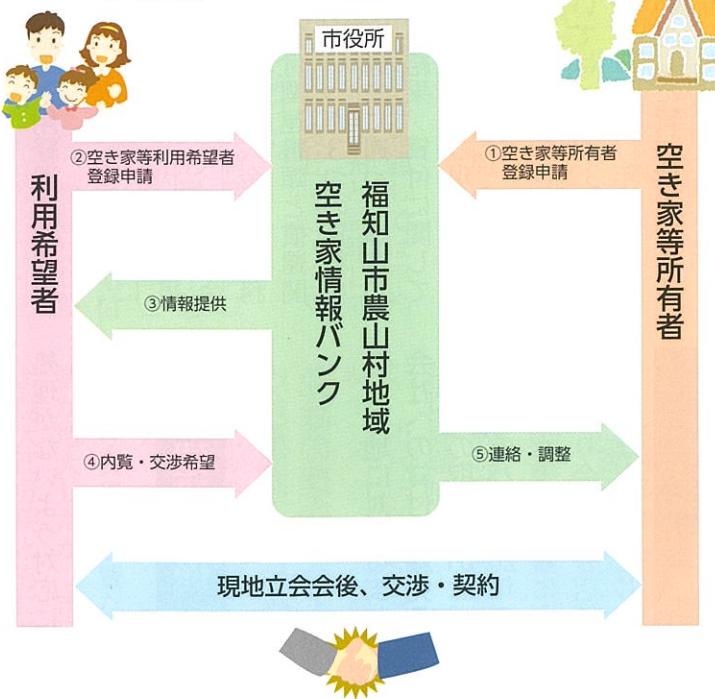
**問** 小さな拠点づくり事業（三和地域）アクトイブワーキング事業の参加者の人数および業種や事業の内容は。

**答** 平成28年度は、151自治会を対象に地元説明会を実施した。平成29年度現在、利用者の36・2%が移行手続きを完了している。



リニューアルした「丹後の海」

## ■空き家情報バンクの流れ



大江学校給食センター（大江中学校敷地内）

問 小学校・中学校就学援助事業について、準要保護の認定基準の係数を他市よりも高い1・5倍としている効果は、全国的には8割程度自治体が係数を1・3倍以下としていることに比べ、貧困世

界での方にも、高齢や障害など個々の課題に対して包括的な支援を推進していきたい。

答 不正受給防止マニュアルによる職員研修を実施。就労収入の未申告や過少申告による不正受給抑制のため、調査を実施し、ケースワーカーが訪問指導にあたっている。

問 受給者の年齢別内訳から考えられる課題の分析は、65歳以上の高齢者が49人、全体の44・1%を占めており、無年金などによる貧困の現状がある。保護が必要な方には速やかに受給を開始するとともに、保護に至るま

での方にも、高齢や障害など個々の課題に対応して包括的な支援を推進していきたい。

答 不正受給防止マニュアルによる職員研修を実施。就労収入の未申告や過少申告による不正受給抑制のため、調査を実施し、ケースワーカーが訪問指導にあたっている。

## 生活保護費不正受給の対策

答 収入未済額は、298万6057円で人数は121人であった。収入が年金のみの場合、滞納されるケースが多いのではないかと分析している。

問 生活保護扶助事業について、不正受給に伴う生活保護費返還金を抑制する取り組みは。

## 生活保護費不正受給の対策

答 公開事業検証において制度のあり方を見直すべきとの意見を受けており、持続可能な制度となるよう検討している。

問 今後も認定基準を維持するのか。

問 事業の成果と今後の取り組みは。

答 体力測定による検証の結果、参加者全員に改善項目が見られた。運動の効果と継続の重要性について情報発信を行っていく。

問 病院事業は

答 病院事業の経費において光熱水費が減少した要因は、原油価格の下落や円高により、ガス料金が4499万円減少したことが主な要因だ。

問 病院事業の経費において光熱水費が減少した要因は、原油価格の下落や円高により、ガス料金が4499万円減少したことが主な要因だ。

答 使用量ベースで81・6%となつておらず、厚生労働省が示す目標値を既に達成している。

## 民生援護資金貸付基金について集中審査

問

基金の運用経過に関する調査内容は。

答 貸付と償還のそれぞれについて、基金運用状況報告書

通帳の出金額と回収額、基金預金

書類の貸付関連書類と償還関

連書類といった3つの資料を

現在から過去に遡って調査し

た。その結果、貸付に関しては平成12年度から現在に至る

まで全て一致した。また、貸

付先などが特定できない債権

創設時から平成11年度までの

間に発生した貸付債権である

と判断した。

なお、償還については平成18年度から現在に至るまでに

ついては全て一致した。

さらに平成11年度以前の貸付金に時効の中斷がないこと

も確認した。

また、平成21年度の債権放棄額の中には同和更生貸付金

も含まれている。

問 今後の再発防止策は。

答 徹底したチェック体制の構築と、適正な債権管理により再発を防止する。また、各

部署において類似の事案がなければ改めて確認作業を行うなど、市を挙げて不適切な事務処理がないよう対応にあたつていく。

## 産業建設関係

### ゆらのガーデン貸付料免除の理由



問 土地に対するまちづくり会社への貸付料減免の考え方と今後の取り扱いは。

答 平成25年、26年の2度に

わたら水害の影響により、まちづくり会社と各店舗の運営に大きな影響が生じたことか

ら、平成27年度以降は貸付料を免除している。今後は毎年度、資力の回復状況や各店舗の経営状況を見ながら、貸付料減免の方について検討していきたい。

## 橋りょう長寿命化対策

### 調査の内容や老朽化の状況は。また、今後の予定は。



答 平成26年6月に国土交通省で策定された道路橋定期点検要領に基づき、橋りょうの下部工、上部工における全て

の部材の近接目視、場合によ

つては打音検査などを実行

いる。現在では緊急的に改修を要するものはない。平成28

年度末で747橋の調査を終



打音検査の様子

## 石原土地区画整理の残保留地処分

### 石原土地区画整理事業の残保留地の状況と今後の販売見通しは。

答 残保留地は平成28年度末で78筆、面積1万5925・6m<sup>2</sup>、金額6億7202万1059円となっている。平成24年度の価格改定から5年が経過し、市場価格との乖離が生じていると思われることから、今年度中に価格改定を行

い、残保留地の売却を促進したい。

## 水道受託工事増の要因

### 水道事業の受託工事費と受託工事収益が大幅な増加となつた理由は。

答 受託工事とは国府などが行う道路工事などの施工範囲で、市が水道管や消火栓などを移設する工事のことだ。平成28年度の受託工事が前年よりも、5件多かったことから、大幅な増加となつたものである。

## 総括質疑

### 歳入増は困難

問 収入の今後の見通しは。

答 平成27年度は增收であつた市税や地方消費税も減収となつた。普通交付税は、合併算定替特例加算の縮減期に入し、平成33年度に向けて減少が続く。地方消費税交付金は、今後、消費税率が10%に引き上げられた場合も、引き上げ分は普通交付税と相殺され、純粋な增收とはならないと見込まれる。

## 基金の取り崩し理由

財政調整基金3億円および減債基金2億3378万円

の取り崩しの理由は。

財政調整基金は福知山公立大学運営交付金の純増分や

増加する社会保障関係経費、治水対策などの増加に伴う不足財源を補うためだ。減債基金はe-ふくちやま事業の民営化にあわせて実施した償還期間短縮による公債費の増加に伴う不足財源を補うために取り崩したものだ。

## 公共施設マネジメントは

施設の除却、統合、民間譲渡にかかる投資的経費の総額と今後の進め方は。

施設の解体などの除却事業は約1億5千万円、利便性向上のため施設機能の統合などの最適化事業は、約3千万円、民間譲渡にあたっての施設改修などの民間譲渡事業は約2300万円で、総額は約2億300万円だ。

地元との合意形成を図りつつ、マネジメント実施計画期間内に着実に進めていきたい。

## 増える社会保障費

扶助費の増加と今後の対策は。

中期財政見通しでは平均上昇率を2・3%と試算していたが、前年度比で3・3%の増加となつた。

国の社会保障制度の動向にもよるが、今後も増加が予想される。一層の行財政改革とともに、給付の厳格化、給付水準の検討など、徹底した整理、縮減が必要となつてくる。

## 病院経営の状況

病院事業の経営分析と今後の課題は。

市民病院の外来患者数は減少したが、その他では患者

数が増加し、1日1人あたりの診療単価も前年度を上回つたことから、診療収入が増収となつた。

一方、スタッフの増加による給与費や薬品費などの材料費が増大したが、市民病院および大江分院ともに前年度を上回る純利益を計上した。今後の課題としては、疾病構造の変化や、診療報酬と介護報

業は約1億5千万円、利便性向上のため施設機能の統合などの最適化事業は、約3千万円、民間譲渡にあたっての施設改修などの民間譲渡事業は約2300万円で、総額は約2億300万円だ。

地元との合意形成を図りつつ、マネジメント実施計画期間内に着実に進めていきたい。

## 財政硬直化への対応は

経常収支比率が前年度を3・3ポイント上回り96・8

%となり、財政構造の硬直化が進んだ。その要因と今後の方策は。

市税、財産収入などの自家財源も微減となつたが、主として地方消費税交付金、株式等譲渡所得割交付金などの依存財源が大きく減少した。一方、一般財源は、福知山公立大学の運営費交付金やe-ふくちやま借換債の償還、学校給食センターやゴミ処理関係の運営費が大幅に増加した。その結果経常収支比率が悪化

した。医療スタッフの充実に努めていくことである。

## 水道事業の損失理由

水道事業は822万4千円の純損失を計上した。理由と業務実績に対する認識は。

給水収益(水道料)の減少および減債償却費の増などの要因によるものである。業務実績としては、堀山送水管布設替工事ほか配水管の布設など、業務は順調に実施できた。

今後『財政構造健全化の指針』を策定し、平成30年度予算編成などにも鋭意努力しさらなる行財政改革が必要と考えている。

## 市民への周知を

本市の財政状況を市の設計図として市民に示すべきではないか。

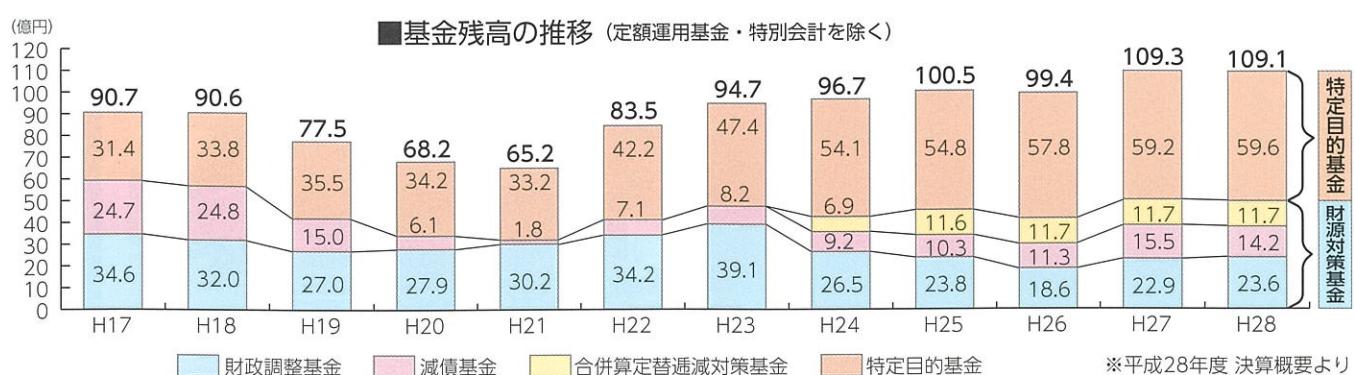
市民の皆さんにしっかりと理解いただることが重要であり、12月に広報ふくちやま決算特別号で、その厳しさや状況について示し、共有していただきたい。

## 望ましい基金とは

基金積立ての必要性と基

金財高の規模は。経済不況による大幅な収入減少、災害による支出増などを備え、安定的な財政運営を維持するために、一定の基金積立てが必要だ。一概に望ましい残高の規模を設定することは難しい。

(全議案 可決および認定)



# 9月定例会 委員会審査報告

## 議案審査

### ■総務防災委員会

福知山市個人情報保護条例等の一部改正（実施機関に市が設立した地方独立行政法人の追加など）

答 仕様書によりエンジン排気量、電動格納式補助ステップなどを規定しており、車種は契約業者が選定する。

（全員賛成で可決）

### ■産業建設委員会

#### 都市計画審議会条例の一部改正（委員の増員など）

個人情報を取り扱う担当部署の業務負担が増えるのではないか。

答 新たに要配慮個人情報を個人情報ファイルに加える必要があるが、基本的な取扱いについて変更はない。

（全員賛成で可決）

### ■教育厚生委員会

#### 上・中六人部小学校の統合によるスクールバス購入

答 スクールバス4台の内訳は。それぞれの校区への配車の予定は。

答 24人乗り中型バスを3台、13人乗り小型バスを1台購入する。中六人部に中型2台、上六人部に中型1台、小型1台を配車する。

問 車種は市が指定するのか。

答 仕様書によりエンジン排気量、電動格納式補助ステップなどを規定しており、車種は契約業者が選定する。

（全員賛成で可決）

個人情報を取り扱う担当部署の業務負担が増えるのではないか。

答 新たに要配慮個人情報を個人情報ファイルに加える必要があるが、基本的な取扱いについて変更はない。

（全員賛成で可決）

審議会の委員を増員する理由は。

答 都市計画の決定、変更などにかかる案件の増加が今後見込まれる。学識経験者を1名増員し、より多方面において建設的に議論を深め、審議会の専門性を向上させるためである。

（全員賛成で可決）

### もう失敗は許されない 「大呂自然休養村センター」の指定管理

答 申請団体「株丹波悠久の森協会」に対する指定管理者選定等委員会における評価の内容、選定に至った経過は。

答 前回の失敗を踏まえ、より高い評価水準で審査を行つ

た。委員の平均点は68点で、基準点の70点に満たなかつたが、経験と善意に基づくよいアイデアや提案があり、基本的に一定の基準をクリアしているとの評価であった。持続性と経営面では不安視する指摘もあったが、ヒアリングや追加資料などで改善策が示され、最終的に当該団体を候補者として選定するに至った。

問 他市における事業実績と施設の運営方針は。

答 当該団体は、平成18年に会社を設立され、兵庫県丹波市において類似した施設を運営されている。その経験を生かし、ミニログの設置なども予定されており、繁忙期には集客力を確保できるよう計画されている。アウトドアを中心とした事業のプランニングや広告宣伝などのアイデアで高く評価されており、本市においても、こうしたノウハウを生かした施設の運営を期待している。

り、雇用も含めた地域活性化に資する運営が行われることを期待している。行政としても、あらゆる側面で精一杯支援していきたい。

（全員賛成で可決）



大呂自然休養村センターのグラウンドゴルフ場



新たな指定管理者に託される「大呂自然休養村センター」、北部地域活性化の鍵を握る。

## 討論

### 議第42号 平成29年度一般会計補正予算(第3号)

賛成

塩見聰

#### 大呂自然休養村の管理徹底を求む

障がいのある生徒に配慮した多目的トイレの設置や8月の台風で被害が出た農地と市道の迅速な復旧、企業版ふるさと納税による財源の確保など評価できる。

ただし、大呂自然休養村センターの指定管理については、甘い部分も見受けられる。しかし、コストが高い市直営をいつまでも続ける訳にはいかないため、持続できる管理を求める。

### 議第53号～議第71号 平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定ほか

賛成

吉見茂久

#### 公立大学など地方創生が進展

新たな総合計画「未来創造福知山」に沿い事業が推進され、全体を通じ一定の評価をする。特に治水対策やe-ふくちやまの民営化の進捗、また公立大学、観光や移住定住施策などで地方創生に関し進展があったと見ている。今後も市民と行政が情報共有し合いながら、事業の選択と集中を図り、住民福祉の向上に一層努められたい。

### 議第53号・54号・67号 平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定ほか

反対

金澤徹

#### 人権施策が同和行政に偏り問題だ

一般会計は高齢者医療保険料軽減補助金など6事業の中止で、市民に冷たい施策。また、部落解放団体への補助金の継続、人権ふれあいセンターや児童館の職員数が多く、人権施策が同和行政に偏っている。

54号、国保料は据え置かれたが、賦課限度額が引き上げされたこと。67号、後期高齢者医療は保険料の値上げなど問題だ。

### 議第53号 平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定

反対

荒川浩司

#### 市の不祥事のツケを市民に回す訳にいかない

民生援護資金貸付基金の約108万円の貸付先が特定できない件について。平成22年に不備が発覚しているのに7年間放置し、その間に全ての時効が成立した。損失金の補てんも、職員の処分も示さない中で、債権放棄を予定されている。この件は、犯罪的な要素を含む可能性もあり、市の不祥事のツケを住民に回す訳にはいかない。

## 9月定例会の議決結果について

### ■全員賛成で可決・認定となった議案

議第42号	平成29年度一般会計補正予算（第3号）	議第45号	平成29年度水道事業会計補正予算（第1号）
議第43号	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	議第46号	福知山市個人情報保護条例等の一部改正
議第44号	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	議第47号	福知山市都市計画審議会条例の一部改正

議第48号	物品の取得について	議第63号	平成28年度福知山都市計画事業福知山駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第49号	公の施設に係る指定管理者の指定について	議第64号	平成28年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第50号	損害賠償の額	議第65号	平成28年度大江都市計画事業河守土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第51号	損害賠償の額	議第66号	平成28年度下夜久野地区財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定
議第52号	損害賠償の額	議第68号	平成28年度地域情報通信ネットワーク事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第55号	平成28年度国民健康保険診療所費特別会計歳入歳出決算の認定	議第69号	平成28年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
議第56号	平成28年度と畜場費特別会計歳入歳出決算の認定	議第70号	平成28年度下水道事業会計決算の認定
議第57号	平成28年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第71号	平成28年度病院事業会計決算の認定
議第58号	平成28年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第72号	公平委員の選任（藤田 清治 氏）
議第59号	平成28年度休日急患診療所費特別会計歳入歳出決算の認定	議第73号	教育委員の任命（倉橋 徳彦 氏）
議第60号	平成28年度公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第74号	人権擁護委員の候補者の推薦（阪根 美智子 氏）
議第61号	平成28年度農業集落排水施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第75号	人権擁護委員の候補者の推薦（山崎 秀信 氏）
議第62号	平成28年度福知山都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第76号	人権擁護委員の候補者の推薦（武田 礼子 氏）
		議第77号	平成29年度一般会計補正予算（第4号）

### ■議員別議案賛否一覧表（賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議 案	会派別議員名（議決結果）	議 決 結 果	日本共産党 市会議員団					福知山 市議会 公明党		福知山 未来の会			蒼士会			大志 の会			新政会			無 会 派					
			紀 氏 白 合 子	塙 見 卯 太 郎	吉 見 純 男	大 根 富 美 子	金 澤 徹	吉 見 茂 久	足 立 伸 一	森 下 賢 司	芦 田 眞 弘	奥 藤 晃	木 戸 正 隆	田 中 法 男	野 田 勝 康	高 橋 正 樹	塩 見 裕 二	田 渕 一 彦	桐 村 信 吾	西 田 辰 郎	高 宮 和 也	藤 田 守 修	井 上 実	柴 田 和 也	竹 本 守 造	中 嶋 浩 司	荒 川
議第53号	平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第54号	平成28年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第67号	平成28年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 -：棄権 ※大谷洋介議員（公明党）は、議長職のため表決に加わっていません。  
※所属会派は9月末現在



# ここが聞きたい！ 9月定例会

## 一般質問

### 各会派から19議員が質問に登壇！

質問議員

- |                        |                              |                               |                               |
|------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 福知山未来の会<br>森下 賢司 議員 | 5. 日本共産党福知山市会議員団<br>塩見卯太郎 議員 | 10. 蒼士会<br>高橋 正樹 議員           | 15. 日本共産党福知山市会議員団<br>吉見 純男 議員 |
| 2. 蒼士会<br>塩見 聰 議員      | 6. 福知山市議会公明党<br>足立 伸一 議員     | 11. 大志の会<br>西田 信吾 議員          | 16. 蒼士会<br>田渕 裕二 議員           |
| 3. 大志の会<br>桐村 一彦 議員    | 7. 無会派<br>荒川 浩司 議員           | 12. 日本共産党福知山市会議員団<br>紀氏百合子 議員 | 17. 日本共産党福知山市会議員団<br>大槻富美子 議員 |
| 4. 新政会<br>井上 修 議員      | 8. 日本共産党福知山市会議員団<br>金澤 徹 議員  | 13. 福知山市議会公明党<br>吉見 茂久 議員     | 18. 新政会<br>竹本 和也 議員           |
|                        | 9. 福知山未来の会<br>奥藤 晃 議員        | 14. 新政会<br>藤田 守 議員            | 19. 大志の会<br>高宮 辰郎 議員          |

※所属会派は9月末現在

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

一般質問

#### Q インバウンドで地域経済に刺激を

#### A 議論してしっかりと取り組んでいく



福知山城を訪れた外国人ツアー客。  
インバウンド誘客による賑わいづくりが望まれる。

##### その他の質問

- ・公開事業検証のこれからを考える
- ・魅力あふれる都市公園づくりのために

※インバウンドとは  
外国人旅行者のこと

福知山未来の会

森下 賢司 議員

**問** インバウンドに対する市の基本的な考え方は。答 国の動向も踏まえ、インバウンド誘客による賑わい創出に取り組みたい。  
(市長)

**問** 外国人訪問客の現状把握と分析はどうか。答 市内の外国人宿泊は、平成26年度の約600人から平成28年度は約2600人に増えている。  
(地域振興部長)

**問** 今後本気でインバウンドに取り組むのか。答 観光地域づくりセンターで議論を行い、インバウンド誘客で地域活性化につながる施策にしっかりと取り組んでいきたい。  
(地域振興部長)

**問** 救急・急病など外国人緊急事態への対応体制は。答 消防本部は指令台の多言語対応機能で対応し、市民病院は多言語翻訳機能アプリで対応している。  
(消防長・市民病院事務部長)

**問** 観光振興の中でインバウンドの位置づけは。答 市独自の施策と、広域エリア連携の一歩立て取り組んでいきたい。  
(地域振興部長)

ホームページ、市民向け研修などの充実の考えは。受け入れ態勢の充実が大切であり、動向を注視して、多言語案内板など必要な施策を講じたい。

## Q 地域住民が求めるスーパーを

## A 地域住民が求める事業展開を図る



広小路のスーパーマーケット跡

### その他の質問

- ・市民の負担にならない公立大学に向けて
- ・市民のために更なる業務改善を

倉土会

塩見

聰 議員



問

広小路周辺の中心市街地は、スーパーの撤退で買い物難民が多く発生している。このような現状の中、第一期中心市街地活性化計画で実施したアンケートの目的は。

答 第一期計画の評価の確認と地域ニーズの把握

のためである。

問 「求められる店舗」という設問で、1位の食料品（生鮮食品など）と2位のスーパー・マーケットを合併して、69・4%と他を圧倒する地域ニーズがあるが、現状は応えられていない。アンケート結果を施策へ反映すべきでは。

答 厳しい財政状態だからこそ、成功していない事業を継続するのではないか、一定の効果が見込めると、二ニーズに沿った事業を開いていくべきでは。

（農林商工部長）

答 生活基盤の安定につながる食料品店の出店、活用しやすい駐車場の整備、利便性の高い中心市街地居住に住みやすい環境づくりが求められている。

問 これらのニーズを踏まえ、事業展開を図っていきたい。

答 厳しい財政状態だからこそ、成功していない事業を継続するのではないか、一定の効果が見込めると、二ニーズに沿った事業を開いていくべきでは。

答 移住・定住に向けた対策は。

答 事業主にさまざまな奨励金を交付している。

答 事業者と連携している。改修補助金や清掃補助金を活用し、利活用促進にも注力している。

大志の会

桐村 一彦 議員



問 雇用促進の対応は、福知山雇用連絡会議を組織し、さまざまな出

金も制度化し実施している。（市長）

答 空き家などの情報提

供や空家利活用の制度は、農山村地域空き家情

報バンクならびに福知山市空き家空き店舗等ス

トックバンク制度を活用

している。安心安全な取

引が行えるよう平成28年

度に市内の宅地建物取引業者と連携している。改

修補助金や清掃補助金を

活用し、利活用促進にも注力している。

（地域振興部長）

## Q 転入や雇用に向けた対策は

## A 企業・北部7市町連携強化で対応



京都府ジョブパーク……UIJターンのパンフレット

### その他の質問

- ・介護人材確保に向けた取り組みについて
- ・新規就農対策について
- ・自然災害における避難所開設に向けた課題対策について

大志の会

桐村 一彦 議員

答 事業主にさまざまな奨励金を交付している。

答 農山村地域空き家情報バンクならびに福知山市空き家空き店舗等ストックバンク制度を活用している。安心安全な取引が行えるよう平成28年度に市内の宅地建物取引業者と連携している。改修補助金や清掃補助金を活用し、利活用促進にも注力している。

（地域振興部長）

問 空き家などの情報提

供や空家利活用の制度は、農山村地域空き家情報バンクならびに福知山市空き家空き店舗等ストックバンク制度を活用している。安心安全な取引が行えるよう平成28年度に市内の宅地建物取引業者と連携している。改修補助金や清掃補助金を活用し、利活用促進にも注力している。

（市長）

## Q 大正小学校給食配膳室の改善を

### A 建て替えを含め検討する。



老朽化が進む給食配膳室(大正小学校)

新政会

井上 修 議員



問 大正小学校配膳室は

答 この施設は昭和32年の建設である。昭和56年

誰が見ても古い建物だ。検査というものが有るなら衛生面で、なぜ通るのか不思議だ。私が聞いた話では、過去にはヌートリア、ねずみなども出ていたようだ。配膳室の横には、吹き抜けで砂やホコリが舞う下駄箱もあり不衛生である。他市では、0・1・5・7の問題も報道されている。0・1・5・7

は命の危険性もあり、子どもたちに何かあってからでは、取り返しのつかないことになる。建て替えの考えは。

答 一給食に変わった時に改修を行っている。グラウンドに隣接しているため、砂ボコリなどの問題もあり、窓ガラスの改修などの対策も行ってきた。

老朽化した建物であり対策の検討が必要であると認識している。

#### その他の質問

- ・災害対策と危機管理は
- ・体育施設の今後は
- ・福知山市の教育環境は

## Q 過労死ラインの長時間勤務は根絶を

### A 事務のスリム化や業務改善を図る



超過勤務が続く市庁舎

日本共産党福知山市会議員団

塩見 卵太郎 議員



問 市職員、教職員の長時間勤務の解消は喫緊の課題。現状認識と分析は。

答 昨年度、単月で過労死ラインの月100時間を

を一回以上超えて勤務した職員は28人、80時間以上は29人であり、抜本的対策が必要である。

答 7月に全教職員にアンケートを実施した。今後、国や府の指導も受け

時間勤務の解消は喫緊の課題。現状認識と分析は。市職員、教職員の長時間勤務の解消は喫緊の課題。現状認識と分析は。

答 7月に全教職員にアンケートを実施した。今後、国や府の指導も受け

時間勤務の解消は喫緊の課題。現状認識と分析は。

答 7月に全教職員にアンケートを実施した。今後、国や府の指導も受け

時間勤務の解消は喫緊の課題。現状認識と分析は。

答 7月に全教職員にアンケートを実施した。今後、国や府の指導も受け

#### その他の質問

- ・平成25年と26年の災害復旧、改修事業の進捗は
- ・米軍の実弾射撃訓練は中止を

問 長時間勤務の実態は、業務量を抜本的に精査しないことになる。建替が方策は。

答 今年度から超勤の場合の退庁時刻を20時とする2ゼロ運動を実施している。今後、機動的な人

問 市長、教職員が子どもと向

き合う時間が持てるよう努力する。

(市長)

## Q 旧小学校跡地の活用を急げ



## A 地元要望を受け協議している



草が生えた旧精華小学校グラウンド

### その他の質問

- ・統一基準による公会計の開始にあたって
- ・土地（農地）利用の制限と中山間地域での課題について
- ・森林に関する福知山市の取り組みについて
- ・用地測量成果を地籍整備へ活用し一石二鳥の効果を

問 夜久野の3小学校が廃校となつて数年が経つ。現在、旧小学校の状況はどうなつているのか。

答 平成25年4月夜久野学園の開校に伴い、3小学校が廃校となつた。平成25年12月に夜久野連合自治会から跡地活用方法について3校それぞれの意向の報告を受けたまま、今に至つている。現在、旧精華小学校は地元から、より具体的な要望が出ているが他の2校は明確な方向性が出ていない。

問 多くの部署が関係しているが、この問題にどう対応しているのか。

福知山市議会公明党

足立 伸一 議員

## Q 市の損害額に対する対応は



## A 損害があったとは考えていない



対応が求められる環境パーク

### その他の質問

- ・福知山は、やっぱり鉄道の町では
- ・新高畠橋の開通に伴う対応は
- ・福知山市民病院のスポーツリハビリの更なる発展を期待して
- ・大正小学校の配膳室の改善が必要では

問 この質問は、今年の6月議会で行い、市長は内容を調査し対応を考えると言わされた件である。本来、環境パークへの一般廃棄物ごみの持ち込みは、事業系ごみでの搬入が原則だ。なぜ、1業者が、10年以上も家庭系ごみでの搬入が続いているのか。また、対応は。

答 明正の2校は、かつての案に対する意向を確認し、協議を進めていく。

無会派  
荒川 浩司 議員

問 この不適切なごみ処理により、データのある平成27・28年度の2年間だけでも500万円以上、市に損害が発生していると考えるが、市長の見解は。

答 調査は継続中で、現段階では市に損害があつたことは考えていない。（市長）

## Q ソーラーシェアリングの普及を

### A 全国事例にも注目したい



ソーラーシェアリング(宝塚市西谷地区の市民農園)

日本共産党福知山市会議員団

金澤 徹 議員



問 市民協働型発電事業による太陽光発電屋根貸し事業の進捗状況は。

答 再エネ活用プランに基づき、学識経験者や民間企業など外部有識者で構成する再エネ事業化検討会議を今年度10月から実施する予定。屋根貸し事業を含む市民協働型発電の可能性や公共施設を活用した電力事業も協議したい。(環境政策室長)

問 本市の耕作放棄地などの現状、推移は。また、防止のために、ソーラーシェアリングが有効だが、未作付け農地は平成24年度559ha、平成28

答 シェアリング普及のため、農政局に講師を依頼し、セミナーを企画している。本市でも検討すべきだ。

答 ソーラーシェアリングは農業という側面からみると日照時間の減少など課題がある。しかし、作付けに適した作物で、農地法の許可や報告を適正にされない取り組みも、全国的にみられる。引き続き注目したい。

(農林商工部長)

年度663haと5年間で104ha拡大している。本市の現状に照らし合わせ防止対策として有効かどうか、今後、検討したい。

問 宝塚市ではソーラー

年、広報ふくちやまに掲載し周知しているほか、各学校の状況については学校だよりで保護者や地域の皆さんにお寄せしている。なお、今後は広くお知らせするため、ホームページなどさまざまなものツールの活用を検討していく。

問 全国学力テストの結果などの周知方法は。結果については、毎年、広報ふくちやまに掲載し周知しているほか、各学校の状況については学校だよりで保護者や地域の皆さんにお寄せしている。なお、今後は広くお知らせするため、ホームページなどさまざまなものツールの活用を検討していく。

問 新高畠橋の開通により、大きく道路事情も変わったが、校区を変更する考えは。

(教育委員会理事)

答 校区については、学校からの距離のみならず、地域ぐるみで子どもの健全育成を進める観点から、自治会毎に設定している。道路状況の改善だけでは、校区の変更に至らないと考へるが、地域ぐるみで学校の教育活動を推進するため、市民の皆さまの御意見をいただきながら、必要に応じ検討していく。

## Q 新高畠橋開通による校区変更の考えは

### A 必要に応じて検討する



開通した新高畠橋

福知山未来の会

奥藤 晃 議員



#### その他の質問

- 本市における健康寿命延伸の取り組みについて
- 観光地域づくりセンターについて

(教育長)

## Q 建設業育成の為の入札制度改革を

## A 地域貢献企業の受注拡大に努力する



地域に貢献する企業の育成は使命

### 他の質問

- ・新時代福知山を拓く「基盤づくり事業」の進捗について
- ・緑地環境の維持管理について

蒼土会  
高橋 正樹 議員



問 入札において、市内に本社のある事業者と市外業者との指名状況は。

答 昨年の全指名入札数の中で、市内に本社、本店がある企業を指名している率は96・29%である。

問 予定価格の事前公表は、特に積算能力において、技術力の低下をもたらすという意見があるが。

答 平成27年度から予定価格の事後公表を試行実施しており、検証を行なががら拡大させていきたい。

問 都市圏とは。  
答 一昨年に5市2町が連携都市圏宣言を行った。30万人の都市圏を形成し人口減少に対応する。

問 京都府北部地域連携クトとは。

答 協議会長は舞鶴市長であるが重要事項は各市町長出席の総会で決定する。府はアドバイザー。

答 海の京都DMO、地域産業活性化、地域人材還流、UIターン、行政サービス、リダンダンシー、交通ネットワークである。

問 健全な競争の確保として、指名入札制から一般競争入札制への移行を促進していると聞いているが、考え方は。

答 地方自治法では、公共調達は、一般競争入札を基本としている。しかし、地域に貢献する優良な企業の育成という観点も考え併せて、指名競争入札を実施している実情である。

問 次世代に引き継げる希望の持てる業態にしていくべきでは。

答 適正な利益を確保できるようダンピング対策も講じ、地域経済の発展と優良な企業の育成を促進していきたい。（財務部長）

問 主導的立場はどこか。

答 新たな連携（連携イノベーション）とは。各市町の強みを生かし、弱みを補完する。7つの重点プロジェクト

答 地理的歴史的なつながり、経済生活圏による。

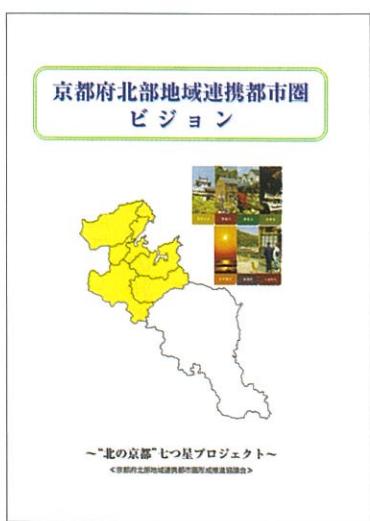
答 京都府の教育部会とは。公立大学など高等教育機関の連携に取り組む。本市のメリットは、観光や移住分野の情報発信や行政効率化が期待できる。（市長公室理事）

問 市長の見解は。

答 相互の協力により府北部の地域創生、公立大学の活性化に寄与すると考える。今後も広域連携を積極的に進める。（市長）

## Q 5市2町の連携メリットは

## A 情報発信や行政効率化を期待



京都府北部地域連携都市圏ビジョン

大志の会  
西田 信吾 議員



### 他の質問

- ・福知山産業支援センターの開設について
- ・福知山公立大学の運営について
- ・里親制度の運用実態と本市の取り組みについて

問 都市圏とは。  
答 一昨年に5市2町が連携都市圏宣言を行った。30万人の都市圏を形成し人口減少に対応する。

問 京都府北部地域連携クトとは。  
答 海の京都DMO、地域産業活性化、地域人材還流、UIターン、行政サービス、リダンダンシー、交通ネットワークである。

問 主導的立場はどこか。

答 新たな連携（連携イノベーション）とは。各市町の強みを生かし、弱みを補完する。7つの重点プロジェクト

問 地理的歴史的なつながり、経済生活圏による。

答 京都府の教育部会とは。公立大学など高等教育機関の連携に取り組む。本市のメリットは、観光や移住分野の情報発信や行政効率化が期待できる。（市長公室理事）

問 市長の見解は。

答 相互の協力により府北部の地域創生、公立大学の活性化に寄与すると考える。今後も広域連携を積極的に進める。（市長）

## Q 消防団の処遇改善と女性の団員を

### A 環境改善や女性団員確保に努める



福知山市消防出初式(1月8日)

日本共産党福知山市会議員団

紀氏 百合子 議員



若い世代の激減で消防団員の確保が難しくなっている。市外から福知山へ通勤する人を対象とした職域消防団の結成を企業に働きかけては。市内の企業に勤められている方も消防団に参加いただける取り組みができるいか検討したい。

全国では女性の消防団員も多く活躍されている。女性消防団員の確保の取り組みを。

現在女性は分団に計3名と支所消防隊に2名だけだ。消防団は災害だけでなく予防啓発や応急手当の普及活動、災害警戒活動など多岐にわたり負担も大きい。災害活動に女性の視点は非常に大切で、今後女性の活動は必要不可欠だと考える。環境改善や公募で女性団員の確保に努めたい。

報酬を消防団の活動費に充てたり地域全体が財源協力しているところもあると聞く。消防団は地域の安全のためどうし

ても必要なものだ。報酬・活動費の引き上げなど予算の増額を。

府の交付金も有効活用する中で消防団活動をしっかりと支え、団員確保につなげたい。(消防長)

#### その他の質問

- ・公共施設の譲渡又は廃止の進め方について
- ・旧夜久野町にお試し住宅の開設を
- ・高齢者対策事業の後退について
- ・特定空き家対策について

## Q 三和荘指定管理運用で想定外の対処は

### A 制度の運用について協議を進める



地域創生につなげる指定管理施設三和荘

福知山市議会公明党

吉見 茂久 議員



利用料金制を導入している三和荘は運営共同体としてノウハウを発揮する必要があり、来年2月が工事予定だ。工事期間は休業となる。こうしたで雇用に関して、指定管理契約期間で、人材育成、働く人の安定という観点をどのように考へているか。

制度の目的をより効果的に達成するため第三者評価委員会により評価を行っている。その評価の結果、目標値に対して優秀な結果を残した指定管理者には再指定のインセンティブを付与され、従業員の安定的な雇用環境が維持できるものと考える。

公の施設の管理運営は指定管理料および協定書に定める受任の範囲で管理を行っている。指定管理者の受任の範囲を超える想定外の事態については、安定した施設運営を継続していくため制度の運用について協議を進みたい。(地域振興部長)

#### その他の質問

- ・成年後見制度の利用促進を
- ・子どもから大人まで健康増進につながる運動習慣の定着を
- ・住宅確保が困難な方への支援充実を

## Q 悲痛な叫び「もっと早く駆除を」

### A 書類の作成などで時間がかかる



電気柵に囲まれた稲刈り風景

新政会

藤田

守 議員



問

有害鳥獣捕獲事業で、もうと早く駆除ができるないのか。被害があつて、1～2週間経つてから初めて駆除ができる。被害を減らすことが究極の目的であり、根本的に駆除の考え方がおかしいのではないか。

答 地元の駆除要請書に基づき駆除隊へ一斉捕獲を依頼している。書類の作成や関係部署への周知などで時間がかかる。駆除は、農作物被害があることが前提であり、未然に被害を防止するものではない。

問 駆除の課題や対策は。

一斉捕獲の時間短縮

問

このような地域は、あらかじめ要請書の提出や事務の簡素化などができるいか、関係機関と調整している。防除事業で、国の方針が防除から駆除へと変更され、予算が昨年度の半額になつているがなぜか。

答 昨年度は、平成26年の豪雨災害の対策費300万円が加算された。侵入防止柵の予算は、本年度も昨年度と同じ予算である。

問 防除資材の要望に対

する配分状況は。

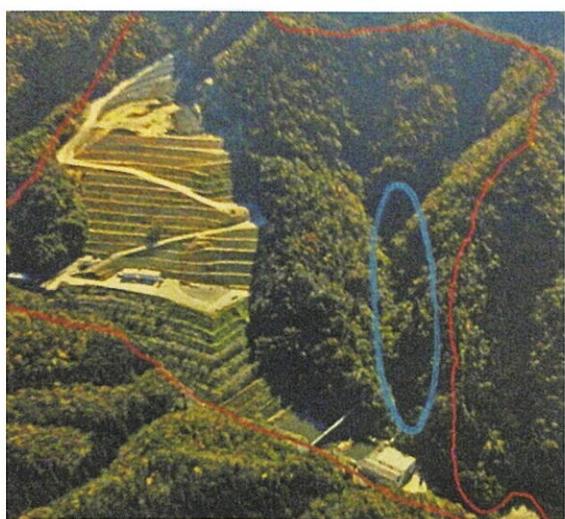
答 今年度は、国庫補助を受けて、250kmの要望に対し、134km配分できる。

(農林商工部長)

一般質問

## Q 瑞穂産廃 拡張計画への対応は

### A 住民の立場で意見表明する方針だ



拡張計画地(水色部分)

日本共産党福知山市会議員団

吉見 純男 議員



問

瑞穂産業廃棄物最終処分場を運営する京都環境保全公社と株主である京都府より、「平成36年度で現処分地は満杯予定である。そこで、隣接する公社所有地を拡張計画の適地として京都府へ許可申請を行いたい。そのため、処分場の拡張許可を判断するための地質調査および、環境調査を実施したい」と、直近下流の三和町大身地区で説明会が行われた。説明会には、市職員も府・公社とともに参加した。市は、廃棄物最終処分場下流の市民の安心安全が最優先のはずだ。

問

近隣にも最終処分場拡張計画に関する情報公開をし、広く意見聴取をすべきだが。

答 市として監視委員会での報告事項など、説明すべきことは、住民の皆さんに周知する。必要であれば縦覧も行いたい。

(地域振興部長)

問

市民の立場に立って対応すべきだが、対応方針は。

答 拡張計画の手続きが進められる場合には、廃棄物処理法や府条例に基づき、安心安全な住民生活を維持する観点から、公社ならびに京都府に意見を表明する。

#### その他の質問

- ・衰退の危機にある農業農村の再生を
- ・三和中学校周辺の一体的整備を

## Q 市バス！ドコデモ乗降の実施を

### A 安全な運行を一番に検討していく



空席状態が続く市内バス



蒼士会

田渕 裕二 議員

問 市内バスは利用者が少なく空席が目立つ運行状態が長期化している。路線では年間1億の赤字が算出されており、市民が利用しやすい運行形態への見直しを早急に行うべきだと考えるが市の見解は。

答 新たな交通モードの転換が必要である。福知山市地域公共交通網形成計画に基づき高齢者や身体の不自由な方、また学生などの生活移動手段を確保するため、関係者や地域と協議調整し、運行の効率化を図り地域の公共交通を維持したい。

問 全国の約70余りの市町村では、バス停以外のどこでも自由に乗り降りができる「フリー乗降制」を実施している。バス停まで行かずに済み、高齢者や身体の不自由な方への負担も少なくなるなど便利なバスは利用者増大につながると考える。市民に寄り添う「ドコデモ・バス」運行を要望する。

答 市バスや自主路線バスの一部限定区間でフリー乗車は現在のところ、運行上の安全が確保できないために実施していない。

(市民人権環境部長)

#### その他の質問

- ・社会問題化するゴミ屋敷問題への取組みを問う
- ・京都工芸繊維大学との連携課題対策を問う

## Q 合併処理浄化槽を市管理に

### A 財政負担が大きく困難だ



維持費の支援が待たれる合併浄化槽のトイレ



日本共産党福知山市会議員団

大槻 富美子 議員

問 合併処理浄化槽の維持管理についてさまざまなもの。また、清掃契約は個人と業者間のことだ」という要望が出されている。府下5市町では浄化槽を行政が管理し、水道使用量に応じて下水道などの集合処理と同様の料金を徴収している。市でも検討するべきだ。

答 維持管理に補助金を交付し支援してきた。市管理への転換は事務負担、財政負担が大きく困難だ。

問 清掃業者の地域割りが決まっていて業者選択もできない。料金も違う。改善すべきだ。

答 料金は世帯の人数ではなく浄化槽の大きさによるもの。また、清掃契約は個人と業者間のことだ市の関与は難しい。

問 清掃業者の地域割りが決まっていて業者選択もできない。料金も違う。改善すべきだ。

答 清掃業者の地域割りが決まっていて業者選択もできない。料金も違う。改善すべきだ。

#### その他の質問

- ・原子力災害の避難計画について
- ・「核ゴミ最終処分の適地」への見解は
- ・ごみ減量化への対策は

(上下水道部長)

## Q 国道9号線の歩道拡幅工事を

### A 国交省に改修を求めている



完成した国道9号線の十二橋交差点

新政会

竹本 和也 議員



問 十二橋交差点が完成、ここから先の住所大山間の歩道拡幅工事は長年にわたり自治会要望をして

通行の妨げになり、極めて危険である。早急に拡幅工事を望む。

答 現在は野花地内で歩道整備工事を実施中。また、用地買収が完了し条件が整った住所大山においては、今年度予定と国交省から聞いている。

答 国交省は、当該箇所が大変危険な箇所で、改修の必要性を十分に認識している。このため牧川の改修に合わせて整備していくことである。市としても早期改良を求めている。

問 下小田地区から住所大山間は小、中学校の通学路であるが、歩道の幅員0・7から1メートル弱と狭く、側溝の蓋も斜めの箇所がある。山の崖はコンクリート打設してあるが、枯れ枝の落下で

問 国道9号線十二橋交差点に信号機の設置は。今後、交通量が増加し、円滑な交通の確保や安全対策上必要性があると判断されれば設置の可能性はある。

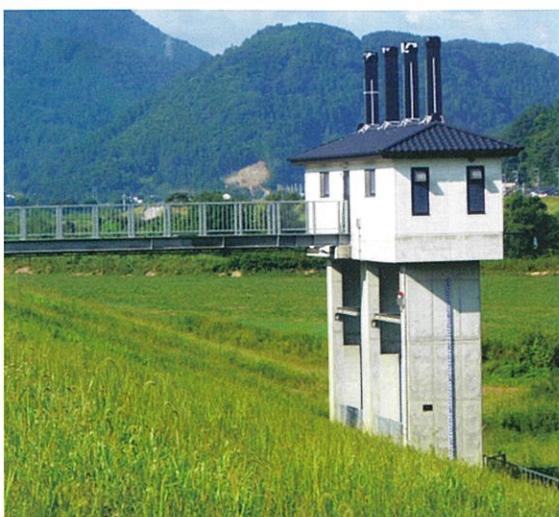
(市民人権環境部長)

問 操作員の安全のため遠隔操作の実現は。

答 京都府からは、これまでも、現地の測量や土質調査を実施する中で、隣接家屋への影響を考慮して施工方法の検討を行っており、先日重点要望事項として知事に直接要望したところであると聞いて

## Q 堤防樋門操作員の安全確保を

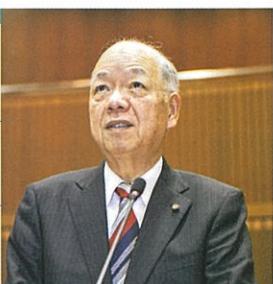
### A 遠隔操作ができるように考える



大江町河東の由良川堤防樋門

大志の会

高宮 辰郎 議員



問 国道175号下天津区間道路嵩上げの難工事

操作員の安全のため遠隔操作の実現は。

答 国土交通省からは、これまで、現地の測量や土質調査を実施する中で、隣接家屋への影響を考慮して施工方法の検討を行っており、先日重点要望事項として知事に直接要望したところであると聞いて

(土木建設部長)

が予想される。理事者としての今後の取り組みは、京都府からは、これまで、現地の測量や土質調査を実施する中で、隣接家屋への影響を考慮して施工方法の検討を行っており、先日重点要望事項として知事に直接要望したところであると聞いて

#### その他の質問

- ・学校統合について
- ・高齢者の安全・安心について



## 教育厚生委員会

# 市内の子育てや教育、介護現場を視察、意見交換

人材不足は深刻な課題だ。人材確保のために定年を伸ばし、働きやすい環境、悩みなど相談を受ける体制づくりに取り組まれている。民間福祉連協の施設借り上げの補助やU-Iターン家賃補助などに継続の希望が出された。

**視察先**  
岩戸ホーム  
下夜久野保育園  
上夜久野保育園  
夜久野学園  
下夜久野保育園  
上夜久野保育園

平成25年4月開校、5年目を迎える。「小学校、中学校の教師が同じ職員室にいることは大変意義がある。学校運営についてすぐ成果が出るわけではないが、卒業時に成果が出せるよう取り組んでいる」と話される。生徒達との給食懇談で、心なごむひと時を過ごした。



市内ではじめての施設一体型小中一貫教育校などの現況を調査

活動日 7月10日(月)

視察先 上夜久野保育園

福知山市民間社会福祉施設連絡協議会と懇談

活動日 7月24日(月)

主な意見

- ・小学生の頃から介護体験の機会を作る取り組みを。
- ・障害者施設への仕事の発注増の検討を。
- ・家賃助成、就学資金の貸し付けなど介護人材定着のための施策継続を。
- ・災害時、福祉避難所として市と協定を結んでいる。広域避難所における高齢者、障害者など福祉連協を通じ福祉事業所に送迎する予定だ。これらの人々の保存食の用意を。

## 産業建設委員会

# 「総合的な治水対策事業」の折り返し年度を迎え、主要事業の進捗状況を確認



工事が進められる小谷ヶ丘貯留施設整備  
(桃映中学校グラウンド内)

治水対策の早期実現を

活動日 8月28日(月)

産業建設委員会では「由良川流域における総合的な治水対策事業」の早期完了に向け、調査研究活動に取り組んでいる。

8月28日には、当該事業に関する委員会を開催し、現地の視察を行った。午前中の委員会では、執行部から国・府・市の役割、市所管事業の概要、進捗状況などについて説明を受け、意見交換を行なった。午後は、小谷ヶ丘貯留施設整備事業、一宮神社線の雨水排水路新設事業など、主要な現場を視察した。

この事業は、国・府・市が一

体となり、総合的な治水対策を行うもので、全国的にも注目されている。今年度は計画年度5カ年の3年目であり、概ね予定どおりに進捗している。

個々の治水対策事業をより効

果の高いものにしていくには、ハード事業だけでなく、ソフト面での取組みも重要な位置づけとなる。このため、所管部署も多岐にわたるが、それぞれが連携を深める中で、1日も早い事業の進捗が図られ、市民の安心安全な生活が実現するよう、今後も注視したい。

**活動日** 8月23日(水)  
**場所** 市民交流プラザへ  
**セントラル長決定**  
**産業支援センター開設に向けて**

来年1月から開設を予定している「産業支援センター」の準備状況を確認した。8月にセンター長が決定し、場所も公立大学から、より利便性の高い市民交流プラザに変更された。

委員会では、本市の産業振興の要として、この事業に大きな期待を寄せていている。支援センターが、事業者にとって力強い存在となり有効に機能すること、で、本市の産業振興につなげたい。

## 市民に開かれた議会に向けて通年議会など視察研修

議会運営と通年議会について

視察日

7月27日(木)

視察先

茨城県常総市議会

平成27年9月の関東・東北豪雨災害対応では、直後から情報収集し、県、国への要望や、情報報の共有を進めたこと、一般質問では、3つの方法をとっていること、また議員定数は合併當時35名であったが、議員定数特別委員会を設置し、賛成多数で22名に決定したなど、議会運営全般について説明を受けた。

通年議会については、2年間かけて調査し、平成26年5月から実施している。メリットとして、年間の大部分が開会中となる。委員会も隨時開催でき、請願審査や意見書の決議が速やかに提出できる。また、災害時に即時対応ができることがある。一方デメリットとして、議会の事務が増えることなどである。

視察日

7月28日(金)

視察先

栃木県那須塩原市議会

議会改革度調査ランキング全国15位で議会活性化を進めている市議会を視察した。

議会運営と議会改革について

その他の議会運営事録や会派視察報告のインターネット公開、特定議題に対するパブリックコメントの導入、通年議会の研究、議会改革度調査ランキング全国15位で議会活性化を進めている市議会を視察した。

平成25年に制定した議会基本条例については、議会活性化検討委員会を設置し検証が行われている。

議会報告会は3班体制で実施し、会場で出された意見および要望のうち、行政運営に関わる事項は市長に報告している。8回で延べ580名の参加状況であった。また、議会だよりも、分かりやすく伝えるため紙面改訂の取り組みを進めた。さらに、市民に親しまれる議会を目指す活動の一環として、豊かな心と文化を育むまちづくりの協賛として議場コンサートを年2回実施している。



常総市議会視察の様子

由良川改修促進  
特別委員会

## 由良川改修事業の着実な促進を…

2会場で意見交換会を開催 要望活動も精力的に実施

委員会活動報告

住民の皆さんとの意見交換

実施日 7月11日(火)

対象 日新地域・大江地域

委員会では初の取組みとして、由良川沿川住民の生の声を聞くため、7月6日に日新地域、7月11日に大江地域に出向き、住民の皆さんと意見交換を行った。



大江地域での出前懇談会

場の継続開催を望む声もあった。2会場とも多くの市民に参加いただき、地域の生の声を聞けたことはとても有意義であった。

地域の声を京都府・国土交

通省へ

実施日 8月9日(水)

京都府、国土交通省への要望活動を行い、由良川治水対策の円滑な進捗に向けて要望書を手渡し、市民との意見交換会でいた地域の声を伝えた。

京都府、国土交通省からは、現在治水対策事業を確実に進めていくため今後も鋭意努力することであった。

京都府、国土交通省からは、現在治水対策事業を確実に進めていくため今後も鋭意努力することであった。

京都府では、由良川改修の一環も早い進捗を図るために、今後もあらゆる活動を精力的に展開していくことを希望する。

まず、委員会からは活動内容、近年の由良川治水事業の推移、2年連続の水害を受けて、鋭意進められている治水対策事業の概要説明を行い、出席の皆さんから意見を聞いた。



京都府庁での要望活動

「川北から観音寺までの河道掘削を早く進めて欲しい」「内水を少しでも早く排除できるように支流河川の整備も望む」「地域の実情に応じた災害情報を知らせて欲しい」など、各地域の切実な声を聞くことができた。また、今回のような意見交換の



## 「市議会議員と話し合おう」 福知山公立大学生と議員が 地方議会の役割と課題をテーマに活発な意見交換を実施



福知山公立大学生とグループワーク

福知山公立大学の講義「政治学」を受講している公立大の学生40名と講義を担当する富野副学長が市議会を訪れ、交流の場をもつた。

講義で学んだ地方議会の役割と課題について、議員から直接議会改革の動向について説明を行った。さらにグループディスカッションを通じて地域社会における政治と代表民主制について、議論を深めた。

講義前半では、議会の現状と改革の取組みや実績について議会側から説明を行った。  
議会改革検討会議が学生の受け入れを担当し、将来を担う若い学生との対話を通じて、行政や市議会に対し関心を高めていただき、市民に身近で開かれた議会にしていくよい機会であった。今回の機会を今後の改革に生かしていきたい。

議会の現状と改革の取組みや実績について議会側から説明を行った。学生が中心となり、出された意見は集約し、最後に全体の場でそれぞれ発表を行った。参加した学生からは有意義な体験となつたとの感想が多く寄せられた。

福知山公立大学  
「政治学」の補講を実施

実施日 8月1日(火)



グループワークのまとめを発表する学生

## 12月 定例会の予定 (26日間)

- 12月 1日(金) 本会議〔提案理由説明(補正予算、条例等)〕
- 12日(火) 本会議〔質疑～委員会付託(補正予算、条例等)、一般質問〕
- 13日(水) 本会議〔一般質問〕
- 14日(木) 本会議〔一般質問〕
- 15日(金) 各所管別委員会〔条例、その他〕
- 18日(月) 予算審査委員会〔補正予算(総務防災・市民地域関係)〕
- 19日(火) 予算審査委員会〔補正予算(教育厚生・産業建設関係)〕～討論・採決
- 25日(月) 本会議〔委員長報告～採決〕
- 26日(火) (会期)

※この議会予定は、今後変更になる場合があります。また、このほかに、全議員協議会などの会議を隨時開催します。



### 市議会への意見をお聞かせください

市議会への意見を聴取させていただく「**市民の声メールフォーム**」を福知山市議会ホームページに開設しております。  
議会に対する御意見などをお寄せください。



福知山市議会  
ホームページ

# 「元気やで福知山！」

No.24

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：大槻富美子・荒川 浩司

福知山演劇サークル「わっぱ」 多くの人に支えられ52年の歴史をきざむ



昭和47年の公演で、4年間連続で公演。その後、すぐに福知山市の成人式での公演が決まり、代表の日比野修三さん

は元福知山商業高校勤務。演劇が好きで、福商に演劇部を立ち上げ活動。

翌年、福知山女子高校が10周年記念の演劇に関わったことがきっかけで女子高OGを知り、「自分たちでサークルを立ち上げよう」と8人の仲間を集め「わっぱ」を結成されました。

後も、小公演をあちこちで行い、今年秋の例会で500回を迎える予定です。

第1回公演は当時、老人ホームだった「福寿園」。

37年間継続して公演しました。ホームが閉園した

後も、小公演をあちこちで行い、今年秋の例会で500回を迎える予定です。



アドバイスする日比野さん(右)



練習風景

本年の定期公演  
「あしたのニュース」  
日時／12月2日(土)・3日(日)  
場所／夜久野ふれあいプラザ

結成3年目(昭和43年)に厚生会館で行った公演は、観客がたつの35人。劇が終わつたとき両手、両足で拍手を頂いたことに、とても励まされたと話されます。

その後、すぐに福知山市の成人式での公演が決まり、4年間連続で公演。

「わっぱ」の立ち上げ当初は、お金がなく、ベニヤ板に新聞紙を貼つたり、曲がった釘を伸ばして打ち付け舞台背景を作つたり…。多くの方々に支えていただいて今日を迎えることができた、そのことに深い感謝の思いを抱いています。

岡西さん 20年間「わっぱ」に関わってきました。楽しく居心地よく自分らしく生きていると感じています。

劇団員の声



監督の指導の声が飛び…

こうした中、市民的に確な情報を伝えていくことが何よりも肝要であります。これからも、私たちは「伝える広報」から「伝わる広報へ」を旗印に研鑽を積んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

(広報広聴委員会)

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を議員が訪問し取材します。

「夕鶴」では1000人

の方に来場いただき、深い感謝の思いを抱いたこと。

いています。

**編集後記**

今年は、度重なる台風の襲来で、本市は大きな災害を受けました。被害にあわれた市民の皆さんに心からお見舞い申し上げます。

本市は過去に多くの災害に直面してまいりました。災害を経験した自治体は、危機管理、災害対応は強くなります。

しかし、今後は少子高齢化など多くの問題を抱えながら、常に災害対応マニュアルや災害対策本部の機能の見直しなど、緊急時に組織はどう動いていくのかを検証していくのかを検証していく必要があります。

今後も市民の安全・安心を守るために、今以上に防災力の充実、組織体制の強化が求められています。